

令和 7 年度 緑の詩保育園自己評価

＜園全体の評価＞

行事では、年齢に合ったやり方で（お楽しみ会・作品展・季節の行事など）子ども達が楽しめる行事が実施できたと思います。

保護者の保育参加により園への理解を深めるため「一日保育士体験」を実施し、保護者が保育園、幼稚園で保育士・教諭の補助をしていただき、午睡や掃除、製作物の準備などの他の仕事も知ってもらう事ができました。

情報発信においては、園のブログやInstagramにて行事や日々の様子を発信し、より多くの方に緑の詩保育園の事を知ってもらえたのではないかと思います。

食育では、給食に出る様々な野菜に触れて観察をしたり、クラスで夏野菜を育て、子ども達で収穫をし、給食で提供してもらう事で食に対して興味関心を持つ子どもが多く見られました。

施設間や地域交流では、未就園児すくすくクラブに参加の親子や、施設外（森の詩幼稚園・ことりの詩保育園・つぼみの詩保育園・老人ホーム）の職員や園児、施設利用者、交通安全教室や昔あそびで園にきていただいた方と交流を行い、ゲーム遊びなどを通して様々な年齢の方々と関わる事が出来ました。又、今年度初めて「移動ふれあい動物園」に来ていただき、沢山の動物に触れ合う良い機会となりました。

遊びの中では、感触遊びや様々な素材を使った製作がいつでも出来るように、定期的にわくわくルームの環境設定を見直し、子ども達の発想力などを育てられるような保育環境を整えました。子ども達の思いやりや社会性、協調性を育むために異年齢で交流をする機会を増やしていき、互いに学び成長できたかと思います。

ソニー幼児教育支援プログラム「科学する子どもを育てる」では「植物を育て子ども達が感じる科学」を研究テーマに取り組み、研究を通して子ども達の思考や発想の展開が見られ、自分で考え、問いを持ち、好奇心や探求心を持ち、教育目標である「自分で考えて行動する子ども」が実践出来たのではないかと思います。

毎月行う避難訓練では、様々な時間帯で災害が起きる事を想定し、時間帯を変えて訓練を行いました。不審者訓練では、園内に不審者が現れた際の避難の手順、対応、身を守る術を実践し、安全を守る為の訓練の大切さを子ども達に伝えられる事が出来ました。又、地域の警察署と連携をしてさすまたの使い方や防犯対策を教えていただき、訓練に活かすことが出来ました。

来年度も保護者や施設外の方々と交流を深めながら、子ども達の好奇心を刺激する体験が出来るよう職員間でよく連携を取り、話し合いを重ねながらより良い保育を行っていきたいと思います。